

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



春の図書館まつりを開催。図書館サポート隊「テントウズ」の協力のもと、ブックカバーの装丁体験や絵本の読み聞かせなどが行われました。(3月25日、図書館)



重春・野村地区交流推進委員会主催の「春のスケッチ大会2017～inみらいえ～」が行われ、33人の参加者らは思いおもいの絵を描きました。(4月16日、茜が丘複合施設Miraie)



市立しばざくら幼稚園を開園。平成29年4月から市内にある8つの幼保連携型認定こども園と連携し新たな「就学前教育・保育」を実施していきます。(4月11日、しばざくら幼稚園)



市役所2階の郷土作家ギャラリーで「吉田奈可遺作展」を開催。市美術協会参与などを務めた故吉田奈可氏(野村町)の書作品20点を展示。(5月31日まで、西脇市役所)

みなみ会が北播磨初の認定特定非営利活動法人に

(3月29日 西脇市役所)



認定報告のため市役所を訪れた認定特定非営利活動法人みなみ会のメンバー

特定非営利活動法人みなみ会が北播磨地域で初となる「認定特定非営利活動法人」に認定されました。この認定を受けることで税制優遇を受けることができ、活動の幅が広がるのが期待されます。みなみ会の長井泰弘理事長は「これを機にさらに活動の輪を広げていきたい」と抱負を述べられました。

市原駅記念館の展示車両が色鮮やかに

(3月27日 鍛冶屋線市原駅記念館)



鍛冶屋線市原駅記念館の車両を色鮮やかに塗り直す西脇高校の生徒たち

西脇高校の生徒約150人が、鍛冶屋線市原駅記念館の展示車両の塗り直しを行いました。車両は旧鍛冶屋線沿線を活性化しようと、平成22年11月に同校卒業生の吉田稔美さんがデザインし地元住民の皆さんが塗装したものです。このたび生徒らが地域貢献の一環として再塗装し、美しくよみがえりました。

市北東部の消防拠点を整備一道の駅東側

(3月25日 西脇消防署西脇北出張所・西脇市コミュニティ消防センター)



4月1日から運用を開始した西脇北出張所と市コミュニティ消防センター(西脇市寺内)

西脇消防署西脇北出張所・西脇市コミュニティ消防センターの竣工式が行われました。出張所は市北東部の消防拠点として、13人の職員が24時間体制で火災や救急等に対応。コミュニティ消防センターは災害用資機材庫や備蓄倉庫などを備え、災害発生時は消防団等の活動拠点となります。



西村卓二さんによる指導



ケーン選手と試合形式で練習をする参加者

西脇市は2020東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン」に登録されており、その事前合宿招致活動の一環として、オーストラリア卓球代表候補のウエイド・タウンゼント選手とケーン・タウンゼント選手をお迎えしました。4月7日からの3日間、両選手は西脇市出身の西村卓二元卓球女子日本代表監督とともに市内各所を視察。滞在中には総合市民センター体育館で公開練習が行われ、市内中学校・高校に通う生徒や黒田庄TTCメンバーなど約120人も両選手と卓球の練習をして汗を流しました。参加者らは西村卓二さんの指導を受けた後、ウエイド選手・ケーン選手のフォアハンドやバックハンドを間近で見学。両選手とも試合形式でプレーし、交流を深めました。



西脇市消防団の消防自動車による行進

平成29年度西脇市消防大会が市民会館で開催されました。消防団は消火活動だけでなく、地震や風水害などの大規模災害発生時に、市民の生命と財産を守る最も身近な防災機関です。団員の皆さんは日々、精力的に訓練を実施され、地域行事にはボランティアとして参加するなど、欠かせない存在となっています。



宣誓書を読み上げる新入団員

消防大会では、西脇市消防団の消防自動車56台が威風堂々と行進。新入団員への辞令交付があったほか、功労者への表彰状授与、退団者への感謝状贈呈が行われました。閉会後には三和橋付近で杉原川への一斉放水が行われ、見学の市民からは歓声があがりました。

卓球オーストラリア代表候補が西脇市を視察

(4月7日～9日 総合市民センターほか市内各所)

平成29年度西脇市消防大会を開催

(4月2日 市民会館)

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!